

## パスポート用レーザーマーキング装置 IDL-K10Pを開発

2023年2月24日

パスポート用高速レーザーマーキング装置 IDL-K10Pを開発しました。

現在パスポートでは、樹脂のページにレーザーマーキングする事が一般的になって来ており日本でも外務省が2020年代にパスポートのプラスチックページに氏名などを偽造が出来ないレーザーマーキング方式で行うと報道されております。

在外公館などに設置出来るレーザーマーキング装置は、海外製品が有りますが、大きくて、高価です。弊社では、このほど埼玉県令和4年社会課題解決型新技術・新製品開発支援事業を活用して新たにIDL-K10Pを開発いたしました。



### IDL-K10P

Passport size



Card size



弊社の製品は環境負荷低減を開発目標としております。

### 特徴

- **世界一軽量で小型の装置（本体重量 16kg）**

軽く小さくすることで輸送環境負荷を低減致します。

- **省エネ**

他社装置の約 1/3 の 120W という省エネ機器です。

- **廃棄物レス**

熱転写プリンタのようにインクリボンなどの廃棄物は出ません。

- **高画質**

弊社基礎技術の写真技術を応用して高画質化を実現。

- **高速マーキング**

弊社パターン（パスポート）で実質のマーキング時間 26 秒を達成

- **自動位置補正技術**

手差しトレイ上の媒体をカメラで撮影し、自動的にプリ印刷位置ズレを自動補正します。

- **低価格の実現**

レーザー装置は高価格を打破する低価格化を実現いたしました。